

【平成18年度 事務事業評価票】					【継続事業用】					
達成ランク	A	達成率(%)	100	基本柱指標対象		体系重複		実施計画コード	1454	
事務事業名	鳥獣害のない里づくり推進事業									
第4次総合 計画での位 置づけ 22311	基本目標	2	施策	2	基本柱	3	中柱	1	小柱	1
	活気あふれる産業づ くり		個性豊かなものづく りのまちをつくる		親しまれ、愛される 農業をつくる		やりがいのある農業 の確立		担い手の育成	
目的	鳥獣害のない里づくり				概要	鳥獣害防止				
作成部署名	産業部	根拠 法令 等								
	農林政策課									
事業費	H17事業費(千円) < 決算 >	1086	H18事業費(千円) < 当初予算 >	2323	H17からH18への繰越額(千円)					
対象(誰、何を)	農作物にイノシシの被害がでている集落									
手段(どういう方 法で)	鳥獣被害防止施設の電気柵を設置することで									
意図(どういう状 態にしたいか)	農地へのイノシシ侵入を防ぎ、農作物への被害を減らしたい。									

【平成18年度 事務事業評価票】

【継続事業用】

活動指標	指標名		単位	年度	17	18	19	20	21	22
		電気柵を設置距離	m	目標値	10450	10450	10450	10450	10450	10450
			実績値	10450						
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
成果指標	指標名		単位	年度	17	18	19	20	21	22
	イノシシによる農作物への被害を防いだ割合		%	目標値	70	70	70	70	70	70
				実績値	70					
				達成率	100					
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
設定の考え方・計算根拠	被害を防いだ農地面積(ha) ÷ 被害対策を施した農地面積(ha)									
実数	70/100									

【平成18年度 事務事業評価票】

【継続事業用】

妥当性	事業の対象は適切か。拡大・縮小の余地はあるか。		
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 > 1 = 妥当 2 = 問題あり	判断の根拠	イノシシの農作物被害は年々増加傾向が続いており拡大の必要がある。
必要性	この事業に対して、市民ニーズが十分にあるか。		
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 > 1 = ある 2 = ない	判断の根拠	被害状況の報告と事業への要望が事業量を上回っている。
	この事業は、市が行う必要があるのか。		
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 > 1 = ある 2 = ない	判断の根拠	農業者の経営安定に不可欠である。
効率性	コストを削減する余地はあるか。		
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 > 1 = ある 2 = ない	判断の根拠	
	他の方式を取り入れることで費用対効果を高められるか。		
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 > 判断の根拠	1 = 民間開放 2 = 一部委託 3 = 補助 4 = 協働 5 = 受益者負担 6 = その他 7 = 他の方式なし	7

【平成18年度 事務事業評価票】

【継続事業用】

有効性	対象・意図が類似する事務事業が他にあるか。			
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 >	1=ある 2=ない	2	「1」とした場合 所管課等
	事業名			
事業を統廃合した場合に支障はあるか。(で「1」とした場合に記入)				
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 >	1=ある 2=ない		判断の根拠
成果を向上させる余地はあるか。				
	< H17年度実績に対する今回の事務事業評価での判断 >	1=ある 2=ない	2	判断の根拠

H19年度の方向性 < 決定 >

1 = 事務改善 2 = 内容拡大 3 = 内容縮小 4 = 整理統合 5 = 休止 6 = 廃止 7 = 維持	判断の根拠、またはH19年度の具体的方策	現状のままで継続実施
7	維持	

体系番号 22311